

復活による証明(ルカ 24:1-12)

イエス様は預言通りに復活なさいました。しかし、パリサイ人たちは、イエス様の復活をなんとかして隠そうとしました。だからといって、それが隠されるようなことではありません。問題なのは、弟子たちも女たちから復活の報告を聞いたにもかかわらず、最初は信じませんでした。なかなか人間的に考えたとき、信じることは無理がある出来事です。しかし、イエス様は間違いなく預言通りに復活なさいました。だから今、私たちはそのことを信じて喜んで復活感謝礼拝をともに捧げているわけです。隠そうとしようが、弟子たちのように信じようとしないことがあっても、イエス様は間違いなく復活なさいましたので、私たちはそういうことに惑わされることなく、イエス様の復活は一体どういう意味を持つのか、イエス様の復活によって何が証明されたのかということを確認して、前に進んでいかなければいけないと思います。

イエス様の復活によって何が明らかにされたのかと言いますと、

1. イエス様の復活は、「人の救いをすべて完了した」と宣言している。

まず第一に、イエス様の復活は、イエス様ご自身が人の救いをすべて完了したと宣言しているものです。イエス様がよみがえられたということは、イエス様ご自身が人の救いのためにこの世に來られて、それを全うされたのですが、そのすべてを完了したというメッセージであり、宣言のようなものなのです。

1) 創世記 3:15、出エジプト 3:18、イザヤ 7:14 の成就

神様は人の救いのためにこのように約束されました。女の子孫が生まれて蛇の頭を踏み砕く。蛇の頭、悪魔サタンの頭を踏み砕いで勝利する、その救いが完了したという宣言なのです。それから、出エジプト 3:18にあるように、私たちの罪と呪いのために、私たちが罪と呪いの運命から完璧に解放されるために犠牲のいきにえとなると約束されていました。その約束がその通りにすべて完了したんだと宣言しているのがイエス様の復活なのです。なぜそういうことが必要なのでしょうか。イザヤ 7:14にあるように、「処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ」。このすべてが神様を離れた結果なので、その神様が人とともにおられるようになるインマヌエルの祝福、その救いをすべて完了したと宣言しているのがイエス・キリストの復活なのです。

2) 自分とお金、成功に縛られ、宗教と偶像、占いに騙され、さまよい苦しみつづ壊れていき、滅びの運命に支配されて、絶対出られないところから完全に解放される救い

私たちは神様を離れて、実は神を失った以来、自分とお金と成功という偽物に縛られて人生を生きることになりました。自分さえ良ければ幸せになるだろうと。金さえあれば、成功さえすれば幸せになるだろうという勝手な基準を持って人生を生きることになってしまいました。なぜなのでしょう。神様を離れてしまったからなのです。そして、そのことのために宗教や偶像崇拜や占い等々に騙される人生を送るしかありませんでした。それはすべて悪魔のしわざなので、いくら幸せになろうと頑張っても、結局、答えのないままさまよい続けるしかありません。苦しみを続けるしかありません。それで人生はあらゆる面で崩壊して行くようになります。精神的に崩壊して心も病んでしまい、体も壊れていくようになります。家庭が崩壊し社会全体が崩壊していくような、いくら努力しても穴があいて漏れていくので、幸せを見つけることなど絶対ありえない悲しい人生を送ることになりました。なぜなのでしょう。神様を離れて神を失ってしまったので、結局は滅びるしかない運命に支配されて人生を生きることになり、自分の力では絶対にここから出られないのです。そこから完全にこの滅びの運命から解放される救い、その救いを完了したと宣言していらっしゃるのがイエス様の復活なのです。イエス様は十字架の上ですでにそのことを宣言していらっしゃいます。

3) ヨハネ 19:30 の証明、マタイ 16:16 の証明

ヨハネ 19：30 を見ますと、すべてを完了したと宣言して息を引き取られました。その完了したと短く宣言した内容が、今申し上げましたすべての滅びの運命、罪から完全に解放される救いを完了したという宣言なのです。つまり言葉を縮めますと、イエス様の復活はイエス様こそ約束されていたキリストその方に間違いなかったという証明なのです。イエスがキリストということが間違いなければ、キリストは今申し上げました私たちのすべての問題を解決するために送られてきたキリストなので、イエスがキリストに間違いなければ、すべての問題を終わらせたはずなのです。完了したはずなのです。そのことを明確にして永遠に宣言している出来事がイエス様の復活なのです。クリスチャンでもイエス様の復活のことを昔の話のように、あるいはおとぎ話みたいな感じで受け止めるクリスチャンがありますが、それは残念なのです。イエス様は死の力を打ち破ってよみがえられました。人間のすべての理解と論理と主張など、すべて超えて超越してイエス様は復活なさいました。なぜそれが可能なのでしょうか。イエス様こそキリストだからです。もしキリストでなければこれは全部嘘なのです。でもキリストに間違いなければ復活しなければなりません。必ず復活しなければなりません。そして預言通りに、約束通りにイエス様はご自分ですべてを完了なさったことと、それが可能な救い主キリストだということを証明されました。これがイエス様の復活によって証明された内容です。もう一度言います。蛇の頭を踏み砕くという約束が約束ではなくて成就されたのです。犠牲のいけにえによって罪と呪いの運命から完全に解放されるという約束が、約束ではなくて成就されました。インマヌエルになるよ。神様が神を離れて滅びるしかない罪人を救い出して、また一緒になると約束が約束ではなくて成就されました。それがイエス様の復活なのです。だから 2 部礼拝でも申し上げますけれども、イエス様の復活によってすべてがガラリと変わって新しくスタートすることになります。すべては終わりました。安心してください。終わってないと思うのは私たちの都合なのです。私たちのレベルなのです。そして私たちの不信仰なのです。問題が目の前にあろうがなかろうが、それは私たちの問題ではありません。そして問題でもありません。なぜそう言えるのでしょうか。イエスがキリストであることは間違いなく、それが証明されているし、ならばすべてを完了したという宣言は事実なのです。真理です。そのことを改めて確認して、皆さんの内側でそれが実際的なものにならないように、「これは問題ですよ」「あの人のせいなのです」「これさえなければ」... と思っているその長い間、皆さんの中に根を下していたサタンの偽りのやぐらが砕かれる光としてイエス様の復活のメッセージが届いていかないといけません。これがイエス様の復活なのです。だから、イエス様の復活を感謝して礼拝を捧げるときは、みな喜んでワクワクしてその感謝の気持ちを主にぶつけるときです。

2. イエス様の復活は、「誰でもイエス様を信じると救われる時代の幕が開いた」と宣言している。

そして、何をまた証明されたのかと言いますと、イエス様の復活は、誰でもイエス様を信じると救われるという新しい時代の幕が開いたと宣言しているものなのです。誰でもこのよみがえられたキリストであるイエス様を信じると救われるということは、皆さんはたくさん聞いたので当たり前でないかと思うかもしれませんが、世の中の人々の論理には全く当てはまらないし、特にユダヤ人にはこれは変な話なのです。しかし、イエス様の復活によって今までのすべての基準、すべての論理が全部壊れて、誰でも、これが大切です。誰でも。皆さんは誰なのでしょう。どんな弱さをもって、どのような汚れた過去をもって、今現在どのように険しい状況に置かれているのでしょうか。誰でもなのです。誰でもこの復活のイエス様を信じる者は、条件なしで救われるんだという新しい時代の幕が開いた、この宣言の前に素直に立っていただきましょう。

1) 間違った選民思想

ユダヤ人は間違っていた選民思想を持っていました。ユダヤ人は特別な存在、だから神に愛され、律法を一生懸命に守っているのだから救われるだろうと思っていたのです。救われるだろうでなくて、救われるんだと。しかし、律法もない、アブラハムの血筋でもないほかの国の人々、それを異邦人と言いますが、彼らに救いなどはありえないよ。彼らは滅びて当然だというふうに悪気ではなくて、本気でそのように思っていたのです。イエス様の復活によって、それが全部壊れて、誰でもイエス・キリストを信じるものは救われることになります。私たちの方から神様を離れて以来、勝手に作り出した人間的なさまざまな条件による人の評価という見方がありました。それが全部壊れることがイエス様の復活なのです。

2) 因果応報の思想

当然、人間の条件が優先なので、世の中を支配している法則は何かと言いますと、因果応報の法則なのです。人間がこうだからこういう風に報われるよ。こうだからこうなるよという因果応報の法則の思想があって、それによって幸せと不幸が、その人の運命が決まるかのような論理がはびこっているのですが、イエス様の復活によって誰でも、誰でもです。極端に申し上げますと、人殺しの人間でも娼婦の人間でも刑務所の中にいる人間でも国会議員も大統領でも誰でも条件は他にありません。人間的な条件はそこに太刀打ちできません。イエスを信じる者は救われます。それが証明されました。それこそイエス様の復活のメッセージなのです。因果応報は結局、人間の行いが基準なのです。行いによって評価するわけです。その法則はイエス様の復活の前で全部力を失って壊れていくようになります。問題なのは、イエスを信じると言いながら、そのクリスチャンの方でいまだにその法則が生き生きと動いているということが残念な問題なのです。自分でイエス様を信じているのに。この復活礼拝を通して、自分の内側にあるそのような因果応報的な行いを基準にするようなやぐらが全部砕かれていくように。

3) 宗教的な評価

そして、宗教的な熱心さ等々によって人を評価する場合があります。どれほど真面目、どれほど熱心で一生懸命なのか。一回お辞儀をするよりは100回やったほうが報われるよというような思想、それが宗教なのです。教会に通っていてもこの宗教の思想からなかなかきれいに抜けていない人が多いのです。イエス様の復活はそのような評価、基準を全部壊して、誰でも、一つだけこのイエス様を信じる人は救われます。その救いはすべてなのです。その時代が始まりました。いつからでしょうか。2000年前から始まったのです。

4) うわべによる評価

また、学歴や財力、その人の外見、才能等々、さまざまな違いがあります。それを別に無視するつもりはありませんが、そういううわべによって人を評価したりする傾向があります。けれどもイエス様の復活は、そのすべてを全部壊して、うわべがどうであれ、学歴があるかないか、お金があるかないか、才能が有るか無いかと関係なくイエス様を信じると救われる。これがイエス様の復活なのです。特に日本人の場合は、礼儀正しさ、その中でも人に迷惑をかけてはいけないという価値観を持っています。それはすばらしいものだと思います。しかし、それが絶対価値ではありません。人に迷惑をかけないという絶対価値にしてキリストは飛んでいくわけです。私たちにとって絶対価値はキリストと救いのほかにありません。そのために迷惑をかけない、その常識に準じて適用していただければ幸いです。

5) 道徳的な評価

なのにそのもっているものが素晴らしいからこそ、道徳的な傾向を大優先のして人を評価したり、また自分の評価をしたりする傾向がありますが、参考にしないといけないものですがそれも全部壊れて、イエス様の復活は誰でも道徳的な礼儀がどうであれ、迷惑をかけているかどうか以前に、イエスを信じると救われるわけです。そのことが明らかになりました。ここにいらっしゃる生まれ育った方々は当たり前なので、また周り全体、社会的な流れそのものがあるので、そうなのかどうかという感覚がほとんどないのです。でも外国から来て、しかも30年以上、ここに住んでいる者から見ると、クリスチャンとしては非常に素晴らしい人柄、品性ではありますが、うっかりすると福音の奥義を邪魔する可能性もあるわけです。それをイエス様の復活の前で全部壊していかないとはいけません。私たちに必要な絶対やぐらはキリスト、宝その一つだけです。イエス様の復活はそういう意味で、今までのすべてを全部壊して、そこから自由に私たちをさせることで新しい出発ができるように私たちを応援する、そういうすばらしい宣言のようなものなのです。

6) ローマ 10:11、8:30、エペソ 1:3

だからローマ 10:11には、誰でも主の御名を呼ぶ者は救われると叫んでいるわけです。それからローマ 8:30には、このように誰でもどのような人間でも、その人がイエス様を信じたのであれば、この一つによって「神は、あらかじめ定めた人たちをさらに召し、召した人たちをさらに義と認め、義と認めた人たちはさらに栄光をお与えになりました」。これはいつに誰でもイエスを信じる者はこのようになります。これがイエス様の復活によって証明されたことです。もう一度言います。義と認められるだけではなくて、その信じた瞬間、栄光を与えられたと過去形で書いてあります。イエス様を信じることはすべて

なのです。だから残っている課題は、そのことを理解して信じて、喜んで味わうことだけなのです。自分の内側でそれが実際的なものになるように、それを指して祈りと言います。これを知らない祈りが宗教になります。こうしてください。こうしてください。これがこう困っているからどうかしてください。という祈りしかできないのです。誰でもイエス様を信じると救われます。救われるということは、その瞬間から栄光を与えられたということなのです。キリストと似たものになったということなのです。そのことがどういうことなのか、どのような祝福なのかをこれからフォーカスを合わせて調べていくということがクリスチャンの課題です。わかった分、喜んで味わえばいいのです。あとはどうなるのか味わってれば、あとは神様がなさいます。なかなか理解できないでしょうが、それがイエス様の復活によって新しくスタートした時代の法則なのです。イエス様の復活によってすべてががらりと変わったということをぜひ覚えていただきましょう。だからパウロが言いました。エペソ 1:3 において、イエス様を信じている自分には、天にある霊的すべての祝福が与えられていると。イエス様を信じることの他には救いはありません。そして、イエス様を信じて救われることはすべてなのです。そのことを復活によって証明されました。

7) 使徒 1:8

なのでまとめて申し上げますと、イエス様の復活は、イエス様が最後に残された言葉、Only 聖霊が臨まれると。そのようになるすべてが整ったということが復活なのです。聖霊が臨まれるようになっていきます。そうすると力を受けることになります。そのことを明らかに示しているのが、イエス様の復活なのです。イエス様の復活のことを告白するたびに、聖霊が臨まれる時代となり、そういう主人公になってるんだと。誰でもです。誰でも。イエス様を信じる者は小さい子どもでも霊的な問題を抱えていても、人から指を指されるような弱さを抱えていても構いません。それはあなたがたは知らなくてもいいですよ。なぜならイエスが復活なさったので。私たちに残っているのは、聖霊が臨まれるとであるにもかかわらず力が与えられて、エルサレムから皆さんの現場から地の果てにまで暗闇が砕かれていのちが生かされる証人となるすばらしい祝福が展開されることになります。これがイエス様の復活です。頭の中でややこしい複雑ないろんなことがいり混ざっている方々は、イエス様の復活前で全部すっきりにならないといけません。それはまだイエス様の復活の前の話なのです。どうしたらいいのでしょうか。どうなってしまうのでしょうか。知らなくてもいいよ。イエスは復活なさいました。イエスはキリストに間違いありません。すべて終わったことに間違いありません。イエス様を信じる人は救われたことに間違いありません。しかもその救いは完全で完璧な救いに間違いありません。ならば病気なのか。経済的に困っているのか。人間関係に困っているのか。精神的な問題を抱えているのか。人に言えない悩みを抱えているのか。知らなくてもいいよ。Only 聖霊が臨まれると、そちらの方に進んでいきなさいよとおっしゃっているのです。でも、私たちの頭の中ではAがあればA、BがあればBという構図に固まっているので、それが全部砕かれて何がどうであれイエス様の復活によって残るメッセージはこれしかありません。Only 聖霊が臨まれると。「先生、どうしても治らない習慣があります」。だからキリストはあなたがたのために十字架で死なれました。心配しないように。自分を責めないように。イエスはキリストという信仰告白を確かめて、だからこそ今聖霊が注がれる主人公なんだという確信を持って求めてください。単純なのです。単純でありながらそこに宇宙のすべてが全部を込められています。これがイエス様の復活の奥義です。もしイエス様が復活しなければ、私たちは馬鹿であり偽り者なのです。

今日、イエス様の復活をたたえる感謝礼拝に集っている皆さんひとりひとりが、賛美に終わることなく実際にこのメッセージが皆さんのものになるように、イエス様を復活を信じる告白をして感謝しましょう。イエス様の完全な救いに対して疑いを全部捨てて、その救いに釘を刺しましょう。その完全な救いが私のものであることを確認して、私のうちに刻印されてやぐらとなるように祈りましょう。祈りはこの事実が聖書に書いてある文字ではなくて、私のうちに実際的なものになることをやぐらと言います。それで条件、環境、状況に左右されていたサタンをやぐらが砕かれるように祈りましょう。人間だから条件に左右されるしかないのではないのでしょうか、環境に状況に振り回されるしかないのではないのでしょうかと当たり前前に思っつついつい言いたくなるでしょう。私もそうでした。今もそのように騙されるときがあります。しかし、それは普通の人のお話で、イエス様が復活なさって復活を信じる信者にとっては、それは昔の話なのです。古いものは過ぎ去って、新しい創造のわざが自分の内側に現れること、それが祈りなので

す。条件、状況、環境に左右されていた当たり前なサタンのやぐらが全部砕かれて、神のやぐらが立つように祈りましょう。それが今、実際的に行なわれているので。なぜ行われていると言えるのか。イエス様は復活なさいました。信じて祈っていただきたいと思います。

それで結局、私たちは、使徒1:7-8の契約が私の契約となるように握らなければなりません。もう一度言います。どんな課題があるのでしょうか。悩みがあるのでしょうか。どういう問題を抱えているのでしょうか。何が心配なのでしょうか。その心配のこのために祈っている限りは、私たちはサタンのやぐらから抜け出すことができません。自分の問題をどうにかするために祈ることは宗教なのです。それは神社の祈りです。私たちは、それはあなたがたは知らなくてもいいよ。なぜならイエスをキリストだから。あなたがたがどんな悩みを抱えていようがこだわるべき内容は、聖霊が臨まれると御座の祝福が現れること、それに集中してこだわりなさい。その痛みと課題を忘れるくらい。その感覚が毎日それぐらいに。もっとわかりやすく申し上げますと、地上にあるものが麻痺されて天にあるものに敏感になるように祈りなさい。なぜそう祈れるのでしょうか。イエス様は復活なさいましたからです。キリスト教は宗教ではありません。脳に刻印されている内容が変わらないといけません。脳に刻印されているものが皆さんをいま支配しているのです。その運命が砕かれて、違うよ。イエスはキリスト。すべては終わった。私は神の子ども。神の神殿。ならば知らなくてもいいよ。頭が悪くて勉強もなかなかついていけないのでしょうか。勉強を適当にやってもいいという話ではありません。一生懸命やらなければいけないのですが、心配しないでそれは知らなくてもいいよ。だから聖霊が臨まれると祈りなさいよ。イエス様の復活によって証明されました内容をしっかりと握って、皆さんひとりひとりがその主人公になることを主の御名によって祈りたいと思います。

(祈り)

恵み深い父なる神様。約束通りにイエス様が十字架で死なれ、すべてを完了なさいよ。よみがえられることでそれを証明され、そしてイエス様ご自身が本当にキリストであることを明らかにしていらっしゃるイエス様の復活を心から信じて感謝申し上げます。なので、そのイエス様を信じる私は、過去が現在が未来がどうであれ、キリストによって救われて完全なる救いの祝福の主人公であることを感謝して信じて、今までのルールを今までの法則を全部切り捨てて、クリスチャンの唯一の法則であるそれは知らなくてもいいよ。聖霊が臨まれると力を得て、地の果てにまで私の証人となる、この約束を握ることができるように。それでひとりひとりが現場において神の国のことを見て、証人としてのいのちの運動に用いられるようにひとりひとりを祝福してください。これを邪魔する不信仰の力がイエス・キリストの御名によって砕かれることを心からお祈りいたします。感謝してイエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。